

令和元年度 第1回
中津川市社会教育委員の会（兼）公民館運営審議会

令和元年6月25日（火）午後7時00分
文化会館2階多目的研修室

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 委員の紹介
- 4 あいさつ

中津川市文化スポーツ部長

中津川市社会教育委員の会会長

- 5 議題
(1) 報告

平成31年度中津川市文化スポーツ部の方針と重点（資料1）

平成31年度公民館の重点方針・事業について（資料2）

- (2) 平成30年度実施事業における文化スポーツ部の課題について
事業名：乳幼児学級事業

- (3) 協議事項
公民館評価について

- 6 閉会

平成31年度 中津川市 文化スポーツ部の方針と重点
中津川市文化スポーツ部

中津川市教育振興基本計画 **学び、活かす市民**

～ 生涯学習環境の整備 生涯学習内容の充実 市民が参加する教育体制の整備 ～

めざす姿

「いきいきとした人づくりの実現」

方針

3つの人づくり

「読書」「一市民1スポーツ」「ふるさとに誇りをもつ」

環境の整備

内容の充実

市民の参加

重点

I 生涯学習の振興

【環境の整備と内容の充実】

- 市民の学習活動のための環境整備
- 学び、活かす楽しい学習
- 親子が幸せに育つ家庭教育
- 未来を切り拓く子どもたちの育成

※阿木交流センターの整備

【市民の参加】

- 活力ある地域づくりの推進
- ボランティアの支援と協働推進
- 国際・国内交流の推進

III 文化の振興

【環境の整備と内容の充実】

- 人・まちづくりに活かす施設再編整備
- 特色を活かした歴史文化資源の整備
- 学び、活かす楽しい学習
- 守り・育てる中津川の文化

※文化会館の改修

【市民の参加】

- ボランティアの支援と協働推進
- ふるさととの絆を深める事業

II 読書活動の推進

【環境の整備と内容の充実】

- 市民が等しく享受できる読書環境整備
- 人づくりにつながる読書活動

※図書機能を備えた拠点施設の構想

【市民の参加】

- ボランティアの支援と協働推進

IV スポーツの推進

【環境の整備と内容の充実】

- 施設の効果的な運営と施設の整備
- 健康で、ライフステージに応じたスポーツ ※オリンピック米レスリングチームの合宿の支援

【市民の参加】

- ふるさととの絆を深める事業

V 人権教育の推進

- 人権に関する学習や指導者研修の実施

職員

能力の向上



市民

意欲の向上

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名

中央

 公民館

2 重点方針

1. 「公民館友の会」を中心として利用者との協働による公民館の運営を目指す。
2. 生きがいのある人生を送るため、生涯学び続けるための場・機会・情報を提供する。
3. まちづくり人づくりの拠点となるよう、地域の居場所としての機能を充実させる。
4. 未来を切り拓く子どもたちの健全な成長を推進する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域づくり学習	“学び、活かす市民づくり”を実現するための学習機会を提供する。	・「熟年大学」「女性大学」で、日常生活の中にある課題について学ぶ。併せて受講生同士の交流で仲間づくりを図る。 ・「乳幼児学級」で、幼い子どもを持つ母親同士の交流の場を作り、社会での孤立を防ぐ。母親としての視点で自らの学びを啓発する。 ・「宿場の細道探訪」で、自分の住む地域を歩いて学び、郷土の歴史を学び郷土を大切にすることを育む。	・新講座として、地域の魅力再発見『島崎藤村の生涯と作品をめぐって』を開催。ふるさとの偉人を学びなおす試み。 ・新講座として、『減災塾～自分の命は自分で守る方法を学ぼう』を開催。中央公民館は避難所でもあるため、地域住民の防災意識向上の啓発の場にもしたい。
	健康づくり講座	生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていける学習機会を提供する。	・「体を動かす」「食事に注意する」「認知症を予防する」など「8万人のヘルスアップ」の一端を担えるような講座を開く。	・現在、利用者は年配の女性が多いことから、男性や若い世代の利用者が増える講座を企画、実施する。
	文化・教養講座	“いきいきとした人づくり”を実現するための学習機会を提供する。	・これまで続けてきた各種講座に加え、利用者にも参加していただいた「講座企画委員会」の企画による利用者が学びたい講座を開く。	・講座企画委員会の企画から生まれた講座『整理と収納～片付けができる心理学講座』を開催。
	青少年健全育成推進	次代を担う青少年が心豊かでたくましく自立するために、地域・学校・PTAと連携し活動する。	・夜間巡回補導活動の実施、また「地域のおじさんおばさん運動」を推進し子どもの安全を守る。 ・各地域での子どもの活動を支援する。 ・視聴覚クラブの協力により地域巡回型「夏休み地域映画会」を開催する。	・夏休み期間中『夏休み子ども講座』を数講座開催し、学びの機会をふやす。
文化	中央公民館まつり	1年間の学習成果発表の場、また、利用団体間の交流の場として開催する。	・利用者団体「中央公民館友の会」を中心とする実行委員会により運営を行う。 ・展示、ステージ、囲碁、バザー、ガレージセールなど多彩な部門それぞれが、日ごろの成果や活動内容を発表する。	・令和元年度は第40回の節目の開催年となる。「友の会」と協働で行っていて、利用者の発表の場としても大切な柱となる事業である。
スポーツ	学校施設開放受付	社会体育の振興を図るため学校施設を借りて開放する窓口となる。	・中津地区内5校との連絡を密にし、学校行事に支障のないよう利用者へ貸し出しをする。 ・第二中学校、南小学校、西小学校の各施設の鍵貸し出し業務を行う。	・中津地区5校を受付しているが、使用頻度はほぼ飽和状態であり、新規利用者の活用が課題である。
運営	利用者との協働	開かれた公民館となるよう利用者との協働で運営を考える。	・地域公民館運営委員会の設置。 ・利用者懇談会を開催する。 ・公民館講座等の企画委員会を作り、利用者の声を直接運営に活かす。	・「友の会」の会員は、中央公民館を利用して定期的に学習を行っている。社会教育関係団体(講座・サークル等)及びその会員で構成しているため、協働する大きな柱となる組織である。 ・「友の会」役員を主とした構成メンバーで、未設置であった『地域公民館運営委員会』を今年度設置。
	公民館活動のPR	中央公民館がたくさんの方の“学びの場”であることをPRする。	・中央公民館を活動拠点にしているサークルを広く紹介し、活動の継続につなげる。 ・「何かを始めたい」と思う方にたくさんの情報を素早く提供する。	・サークル活動の一環として、ロビーコンサートやロビーの小展示、六斎市への出演などサークルの出演を増やし、利用促進につなげる。 ・サークルPRの掲示板の活用、サークル募集、発表会のポスター掲示チラシの設置等活動PRの場をより多く提供する。

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 苗木 公民館

2 重点方針

1. 伝統を引き継ぎつつ、利用者が主役となる運営・事業を目指し、改革すべき点は改革を行う
2. 公民館の役割（出会い、学び、つなげる）を発揮し、まちづくり活動の基盤づくりを行っていく
3. 公民館から遠方の地域へ「出かける公民館講座」事業を実施

重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	教室・講座の開講	地域住民の学習要求に応える。仲間づくりへと発展させる。（サークル化）	地域の絆づくり講座（6講座）、健康づくり講座（2講座）、文化・教養講座（4講座）を開講。受講生の主体性を重視した運営を行う。	苗木区民講座で苗木検定を実施
	乳幼児学級びっころの開催	子育ての孤立化を防ぎ、仲間と子育ての楽しさを体験、学習	未就園児親子を対象に、地域の子育て世帯に呼びかけ、健康・安全・手遊びなどをテーマに学習・活動を行う。	
	出かける公民館講座の開講	公民館から遠方の地域の方へ学習機会を提供する。	希望する各区を会場に、主に健康づくり、歴史、福祉等をテーマに学習する。	
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域活動へと促す。	青少年健全育成推進市民会議苗木支部を中心に、地域の諸団体との連携を進め、補導、見守り活動、読み聞かせ活動等を行う。	
	交流スペース活用	区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放	図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくるとともに、ほっとしよくらぶを中心に活動の発表の場、学びの場として活用する。	交流スペースの活用について検討会を開催する
文 化	第3回苗木文化交流まつり	地域の文化・芸能活動の発表の場として開催	2020年2月22、23日に作品展示、ステージ発表、出店のバザー等で公民館使活動、地域活動の発表と交流の機会として開催する。	まち協教育・文化部会が主となり実行委員会を組織
スポーツ	苗木体育協会活動の支援	地域住民の一人一スポーツ活動を推進するための各種大会を実施	6月 ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、7月 バレーボール大会、8月 野球大会、10月 軽スポーツ講習会、11月 健康マラソン大会、1月 親子スケート体験等を実施	
	学校施設開放事業	学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援	苗木小学校・苗木中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る。	
運 営	公民館運営委員会の開催	地域住民の声を運営・事業に生かすための審議を行う	地域、公民館利用者等の代表者で構成事業や運営に対する意見交換等を行う	H30年度公民館事業の評価を実施
	利用者懇談会の開催	利用者等と職員の意見交流を行い、運営・事業に生かしていく	利用者の声を聞く機会と同時に、公民館の思いなども説明し、今後の運営・事業を充実させていく機会として開催する	
	「交流センターだより」の発行	まち協・公民館の情報提供	まち協・公民館の活動の情報提供	

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂本 公民館

2 重点方針

1. 公民館は、生涯学習の拠点施設として、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいつそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2. 家庭教育学級の充実のため、子ども学習教室、サークルの開催を支援するとともにリーダーを育成し、将来を担う子どもを皆で育てる環境の醸成に努める。
3. 青少年健全育成推進坂本支部と見守り隊などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康の維持・体力づくりを推進する。
5. 伝統文化の保存継承と文化財等の地域資源の活用を関係団体と連携し推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座の開設	住民の身近な学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり、人づくりの推進を図る。	趣味の教室や市民の生活に身近な課題をテーマに講座を開講し、人と人のつながりや、地域づくりボランティア活動への契機としていく。	市民の生涯学びたい気持ちを応援する。
	高齢者大学「はなのき大学」	高齢者が元気よく、いきいきと暮らせるように、また積極的に社会参加できるように支援する。	市内外の講師を招き健康・歴史等の講話開催する。大好評の社会見学と歩け歩け大会は老人クラブのイベントと重ならないように企画していく。また自主サークルのカラオケ、民謡クラブなどを組織する。	受講生の活動記録を掲載した文集を発行する。
	青少年健全育成推進	市内で一番のマンモス小学校を抱える坂本地区として子ども会活動を支援しながら、人や地域を愛せる心を育む活動を目指す。	7月の社明大会、夏休み期間中の夜間パトロール活動、11月の子ども若者育成支援強調月間での独自の取り組み、1月の「家庭の日」の取り組みを推進する。	子ども会の親子行事に元気キッズ事業を活用する。
	図書コーナー	生涯にわたって学び、創造し、充実する人生を応援する。	情報サービス提供機能を強化するため、中央図書館と連携しニーズのある図書を提供する。	四季折々のイベントを飾り付けて利用しやすい環境を整える。
文化	第44回公民館まつり	サークル・講座の利用者が活動した成果を広く区民に発表する場を提供し、学習意欲の向上を図るとともに、生涯学習の重要性を啓蒙し、地域力の向上を図る。	サークル・講座の利用者が実施主体となって、企画立案し、ステージ発表会と作品展覧会を開催する。	地域の団体である「飛翔の里」の合唱団等を招き、来場者と交流する。
スポーツ	第48回区民運動会 各種スポーツ大会 各種スポーツ教室	スポーツを通して区民の健康の維持、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。	坂本体育協会を実施主体とし、各地区から選出された体育委員を中心に区民運動会、ソフトボール大会等を開催する。また学校施設等を利用して、スポーツ教室を年間を通して開催する。	坂本体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。
運営	公民館運営審議委員会	公民館の管理や運営に対して充実を図る。	今日の激しい社会構造の変化の中で、市民の多様化・高度化する学習ニーズや生涯学習社会の進展等の新たな状況が生じている。その変化に対応する社会教育、公民館の在り方について意見を伺い反映させる。	社会教育委員等で組織する。

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 落合 公民館

2 重点方針

- 1.地域の人々の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と居場所を提供するとともに、地域の各団体と連携して地域力を高めるための支援をしていく。
- 2.家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊に育つ環境づくりを推進する。
- 3.地域の歴史文化への理解を深める機会を積極的に提供するとともに、伝統芸能の復興を支援することにより地域の絆が強くなるような環境づくりに努める。
- 4.生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図り、健康で心豊かな人づくり、地域づくりをするため、スポーツ関係団体などとの連携を一層強化する。
- 5.まちづくり推進協議会が策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」の実現を目指す。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	地域のみなさんの自主的に学ぶ意識を高揚させるとともに、仲間づくりなどによる潤いのある生活と健康の増進、感性の醸成を図ることを目的に開催。	年間を通し各種教室・講座(5～10回中心)を開講 ・教室…女性大学、歴史教室、子ども(親子)教室等 ・講座…従来の文化スポーツ講座に地域性を組入れる(健康体操、ヨガ、太極拳、小物陶芸)	自主的な講座運営を目指し、自主サークルへ移行できるように支援する。
	キッズクラブ(乳幼児学級)	乳幼児を子育て中の親さんを対象に、仲間づくり・子育て・遊びなど親子で学ぶ居場所づくりを場所とする。 少子化社会の中で地域で子育てを支援する環境づくりを創出する。	0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び(親子の関係・あいさつ・行動・躰など)を組み合わせ、毎月1回1年間を通して自主的な活動運営を高める。	老人クラブとの連携を密にして三世代交流づくりを深める。
	自主活動サークル支援	公民館を利用し地域づくり活動に積極的に活動しているサークルを情報提供や、事例紹介、広報活動などで支援し地域の活性化につなげる。	市民協働課で実施している「がんばる地域サポート事業」の採択団体を中心に協働のまちづくりの観点から各種アドバイスを行う。	成果物ができることによる会員の自信、次へのステップにつながる。
	元気キッズ事業 【青少年健全育成】	異年齢集団による体験活動により、地域の人との交流を深めるようにする。特に、小学校高学年・中学生の参加促進を促す	各号区単位の地域子ども会の活動を通して異年齢交流や地区行事に積極的に参加を促すことで子どもの出番と居場所づくりを支援する。 ・どんど焼き、夏休み合宿、三世代ウォーキング等	保育園、小学校、中学校と連携を強化する。 園長・校長・館長の四長会議の開催。
	図書展示ルーム	誰もが気軽に集える場所とする。	図書館と連携しながら利用者の学習ニーズに応える。	多目的会議室としても利用する。
文化	落合公民館まつり ・ステージ発表会 ・作品展示会	子どもから大人まで文化・芸術に親しむ場と日頃の成果を披露する機会を提供するとともに、皆の交流の場とする。 地域の伝統文化の継承、個々の文化活動を高めるとともに、活動を通して地域づくり活動に結びつける。	サークルや講座の利用者が主体となり、企画してステージ発表、作品展示で成果発表する。 併せて、個人、保・小・中の子どもの1年間の活動(学習)成果発表をする。	「楽しくなければ公民館じゃない!」をメインテーマに開催。 落合宿本陣の公開管理業務を地域活性化に繋げるように支援する。
	落合宿本陣公開事業			
スポーツ	落合公民館共催事業 (主催: 青少年落合支部)	地域のみなさんの健康の維持・増進と仲間作りを目的とする。	青少年健全育成推進市民会議落合支部行事の支援。	新春マラソン大会の開催 落合石畳マレットゴルフ場を拠点に生涯スポーツであるマレットゴルフ愛好者の増加を目指す。
	落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョンの実現	コミュニティスポーツ(ウォーキング、マレットゴルフなど)を気軽にできる環境を創出する。	まちづくり推進協議会で策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」具現化を推進する。基本理念は「あなたらしく わたしらしく 生涯スポーツを!」。	
運営	公民館運営委員会	公民館の管理や運営に利用者の声を活かす。地域住民のニーズを把握する。	日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす。	公民館の運営について評価する。

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 阿木 公民館

2 重点方針

1. 地域住民の日常的な学習活動の拠点として、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. 家庭教育の充実のため子育てサークル等団体を支援する。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成として、安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、健康で心豊かな地域づくりを行うため関係団体と連携を強化する。
5. 新しい公民館開館に向けて関係機関と意見交換を行います。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	学習や交流をとおして人と人とのつながりや地域づくり・生きがいづくりへつなげる。	年間を通して各種教室・講座の開講(各2回～6回) フラダンス教室、ウォーキング教室 可愛いお弁当づくり、布ぞうり教室	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
	乳幼児学級 【未就園児と保護者】	子育てに関する学習や遊びから親子の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上を図る。	乳幼児学級では、全ての対象者が家庭教育の場に集い、交流できるよう取り組む。(6月～3月 7回開催) 乳幼児支援センターの立ち上げを支援する。	会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。
	みちくさ教室 (阿木子ども公民館)	子どもたちの様々な体験、学習、交流をとおして健全な育ちを支え、子どもと公民館との関わりを深める。	ものづくり、体験教室、防災教室、体験をとおして作法を身に着けたり、地域の大人との三世代交流などを行う。 放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。	青少年阿木支部、阿木地区社協、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。
	青少年健全育成推進	小・中学校や地域と連携し青少年の育成活動を推進する。 子どもの放課後居場所づくりを行い安全を図る。	区長会、地域の役員、老人クラブと連携しながら三世代交流事業を行う。 子どもたちが放課後等に安心して活動できる居場所づくりの立ち上げを支援する。	地域には学童や児童センターもないため保護者が安心して働ける環境を整える。
	図書展示コーナー	地域の方が気軽に立寄り集える場所にする。	図書館と連携し利用者の声を反映させる。	住民の憩いの場所とする。
文 化	阿木文化祭(展示・ステージ発表会)	地域の文化振興と住民の意識の向上を図る。	日頃の活動を発表する場として、12月に、書道、俳句、華道などのほか保育園、小・中学校の児童・生徒の作品を展示する。また、同時に民謡や琴、カラオケなどのステージ発表を行う。	阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。
ス ポ ー ツ	スポーツ大会 スポーツ教室・健康づくり	阿木地域の住民(子どもからお年寄りまで)の健康増進、体力向上、親睦を図る。	阿木区民運動会・ノルディックウォーキング・スケート教室・新春マラソンの運営を行う体育協会の支援を行う。	阿木体育協会との連携・協力
運 営	公民館運営委員会	公民館の運営、事業に地域住民の声を生かし充実を図る。	地域の声・利用者の声を反映させる為に、公民館運営委員会を開催し意見交換を行う。	公民館評価制度の研修

2019年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 神坂 公民館

2 重点方針

- 1、生涯学習の推進・・・地域住民に学習機会の提供や交流の場として、地域の特性を活かしながら各種講座を開講する。
- 2、青少年健全育成の推進・・・家庭・地域・学校が連携し、子ども達が安全で安心して育つことができる地域づくりを支援する。
- 3、神坂地区の一体化推進・・・様々な機会を通じて神坂・馬籠地域住民の交流を支援し、一体化を推進する。
- 4、地域づくりの推進・・・東山道もみじまつり等各行事を通じて地域づくりに向けた住民の交流を支援する。
- 5、公民館活動の充実・・・地域住民の学ぶ場として、場所や情報など必要に応じた援助を行う。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生 涯 学 習	公民館講座	仲間づくりや健康づくり、学習の場をととして、豊かな生き方に結び付ける	多くの地域住民が気軽に参加できる、学習機会と仲間づくりの場を提供する。	
	高齢者大学「ぬく森大学」 女性学級	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがいづくりを支援する。	健康で生きがいのある生活を目指して、教養・趣味など仲間と一緒に取り組みます。	年8回 女性学級と合同開催
	乳幼児学級「わんぱくらぶ」	子育ての仲間づくりと親子の学び場づくりを支援する。	読み聞かせ・リズム体操・遠足・子育て講話等 年11回開催	落合の乳幼児学級と合同開催あり
	青少年健全育成推進	体験活動等をととして、青少年健全育成の強化を図る。	親子クリーンキャンペーン(環境美化空き缶拾い) & マスつかみ、かるたとり大会等	
文 化	ふるさと神坂総合文化祭	学校・地域住民の日頃の成果の発表や、地域住民の交流を図る。	幼・小・中学校と神坂・馬籠地域住民の参加による作品展示とステージ発表。	
ス ポ ー ツ	湯舟沢リバーサイドマラソン	健康と体力づくりの関心を深め地域住民の交流の場を支援する。	小学校低学年・高学年・中学女子・男子・一般・親子でマラソンを実施し、その後ウォーキング教室を開催。	
	神坂学校・地域親善大運動会	学校と地域住民と地域団体が一体となりスポーツで親睦を深める支援をする。	幼・小・中学校と地域(神坂・馬籠)・消防団・老人クラブ等が参加し、地域全体として運動会を開催。	
運 営	調整会議	学校・地域・各団体の行事が重複しないようにする。	幼・小・中学校・地域(神坂・馬籠)・各種団体による主要スケジュール調整	
	広報みさか発行	地域内の情報提供と、公民館活動の理解を深める。	毎月1回 地域情報提供 全戸配布	
	乳幼児図書コーナー	読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。	事務所の一室を図書コーナーとし、乳幼児の絵本・紙芝居等を設置。貸出等にも対応。	

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 山口 公民館

2 重点方針

1. 拠点となる公民館・・・地域の住民が気軽に集うことのできる公民館、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. こどもの環境づくり・・・地域の子供は地域で守り育てる、青少年が健やかに育ち自律できる社会環境づくりに努めます。
3. まちづくり・・・地域における活動や人材を結びつける活動を通し、活気のある楽しいまちづくりに取り組みます。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	地域づくり学習	子どもからお年寄りまでの居場所づくりとより質の高い幅広い学習機会を提供する。	「生きがい大学」の講座を通し受講生（熟年者）お互いの交流を深めながら居場所づくりと生きがいを見つけられるような講座を開設。 「乳幼児学級」にて親子のふれあいとママ友の輪を広げながら子育てを面白く学習する。身近な地域における課題解決に向けた講座の開設。	「体験クラブ」「文化歴史散歩」 「茶道教室」は、やさか（山口、坂下、川上）の合同講座として開催する。
	健康づくり講座	健康が一番 生涯健康でイキイキとした生活をおくるための支援をする。	「ウォーキング」「体操」「ヨガ」「脳トレ」など自分好みで選べる健康講座を多種開講する。	8万人ヘルスアップに繋ぐ参加者を募る。
	文化・教養講座	個人の知識・技術・経験を広く高くすることで自身の充実した生活に繋げる。	音楽、技術、教養講座を開設、趣味と娯楽とを同調させた楽しい環境を提供する。	楽しく学んでもらえることを重視。
	青少年健全育成推進	山口の地域性を考慮し地域の団体と連携、地域ぐるみで子供たちの育成を推進する。	まち協、社協、学校、PTAなど地域に貢献する殆どの団体と連携しながら子供たちを守り育てる事業を展開する。 「危険場所調査」「街頭啓発」「教育の集い」などの活動を支援する。 子ども達の夏休みには世代間交流事業を開催する。	「地域のおじさんおばさん運動」を推進する。
	図書の充実	児童図書を中心に充実させ、子どもたちに教養と人づくりに繋げる場所を提供する。	「図書まつり」を開催する。 幼稚園、小学校への「出前図書」を継続実施する、季節・流行・年代別などニーズに沿った書物を定期的に配本する。	アンケートを実施しながら子どもたち、先生、保護者のニーズを把握し更新していく。
文 化	地域文化の振興	地域の文化芸能活動を支援することにより住民の文化伝統の意識を向上させる。	山口文化協会が主催する芸能祭の支援。 子ども達の作品を展示公開、地域住民の作品展示、サークル発表の場を提供する。	山口の文化伝統を守り伝承する。
ス ポ ー ツ	地域住民のスポーツ活動	スポーツにふれる機会を提供することで地域住民の交流と体力の増進を図る。	体育協会と連携しながらウォーキング、スキー・スノーボード教室、マレットゴルフ大会など子供から大人まで気軽に参加できる活動を支援する。	地元の住民がより多く参加できる事業を、地域の団体と連携し具現化する。
運 営	公民館運営委員会	公民館の管理、運営を円滑にする。 公民館活動の活性化を図る。	公民館の利用者を中心としたメンバーで、年2回の会議を実施する。 委員の声を聞きながら時勢・地域性を考慮しながら、新たな環境を創りだすこと。 地域の拠点となる公民館を目指す。	地域の住民、団体との連携と情報の共有。

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂 下 公民館

2 重点方針

- Community Learning Center of the people , by the people , for the people .
1. 人づくり・・・地域の人材を発掘・活用しながら楽しくておもしろい公民館講座等を開催し、次代を担う地域リーダーの育成を図る。
 2. 絆づくり・・・親子の仲間づくりに重点を置いた乳幼児学級・子育て学習等を推進し、地域の教育力の向上と人々の絆の強化を図る。
 3. 地域づくり・・・やさか地区関係諸団体との連携による青少年健全育成の推進を図る。地域連携強化による公民館活動、スポーツ事業を推進する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児学級(ほほえみ教室)	就学前の親子を対象に、子育てを通じた仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭の教育力を高める。	月一回の定例学級と班活動により、乳幼児期からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。 やさか地区合同の乳幼児学級も二回程度設定する。	保護者の独創的な発想を大切にすると同時に、地域の人材を積極的に活用し世代間交流を図る。また、地域間の交流も図る。
	青少年健全育成活動	啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。	危険個所の点検・街頭啓発活動、登下校の安全確保などの活動を実施して、子どもたちを地域で守る意識を高めて行く。 子どもたち自身の企画・運営を大切にしたい楽しい活動を追求する。読書活動の推進を図る。	地区(10)ごとに委員選出、やさか地区合同での啓発活動を実施。 「地域のおじさん・おばさん運動」の推進を図る。
	わくわく体験くらぶ	やさか地域の小学生と保護者で体験活動や制作活動と交流を行う。	地域の自然に触れたり、創作活動、科学実験等の各種体験に親子で挑戦する。	楽しくておもしろい多様な体験活動を設定する。やさか各地区の独創性を生かすようにする。
	公民館講座の開催	若年層から高齢者まで学習機会と仲間作りの場を提供し、地域づくり・ボランティア活動へのきっかけを作っていく。	楽しくておもしろい講座での学習や体験を通して個々の能力の向上と活用を図り、世帯間交流を深める。講座受講者が新たな指導者となって活躍できる動機づけにする。	平成30年度並みの講座数を予定。アンケートをもとに、地域人材の発掘とそれを活用した独創的な講座の設定に努める。
	教育のつどい・青少年健全育成推進大会	「やさかの子は、やさかで守り育てる」を合い言葉に、青少年の健全育成をめざして地域の諸団体の連携の場とする。	園・学校・家庭・地域社会が情報を共有・発信しあい、青少年に関わる一貫した取り組みを行う。様々な活動を通して意思統一を図る。	10月26日予定、やさか地区小中学校授業参観、実践発表または講演会などの予定。
	図書室まつりの開催	子ども達の読書への興味と関心を高め、豊かな心を育む。	公民館図書室を知ってもらいきっかけづくりをしたり、本の楽しさを広げる企画を行う。	小中学校夏休み期間中を予定。ボランティアによる活動なども重視する。
文化	「花馬まつり」(坂下)の保存・伝承	無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛護思想の高揚を図る。	「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。毎年10月の第二日曜日に開催。	囃子方、子ども手踊り等の練習場所の確保に留意する。
	歴史・民俗資料の保存・伝承	地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。	文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存に努め資料館を積極的に活用する。広報・宣伝活動を通して資料館来館者の増加を図る。	坂下民俗資料保存会と連携し、歴史民俗資料室の整理、展示、維持、運営方法を考究する。
	文化事業	文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。	年一回、文化祭・芸能祭を開催。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎の公演なども行い、後継者の育成を試みる。	10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞伎公演を予定。それぞれの団体が開催する活動をサポートする。
スポーツ	各種スポーツ大会の支援	スポーツを通して子どもから大人までのふれあいの場と健康づくりの場を提供し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	元旦走り初め大会・桜の湖ジョギングお楽しみ会、各種駅伝大会・卓球・ソフトバレーボール・ビーチボール大会などの開催支援。	坂下総合体育館、やさかイキイキ倶楽部との連携強化を図る。
運営	公民館運営委員会	公民館等の管理や運営に利用者の声を活かす。	委員会・日ごろの公民館利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所との連携の強化を図る。

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 川上 公民館

2 重点方針

1. 家庭教育の充実
2. 青少年健全育成活動の推進
3. 公民館講座の充実
4. 文化スポーツ活動の支援

3	重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習		乳幼児家庭教育学級	就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習・講座・情報交換を通じた仲間づくりを進める	・月一回開催(やさか地区合同学級年2回含む) ・企画、進行等学級性が主体となって活動を行う。	卒級生、老人クラブなどの卓司サポート
		公民館講座の開設	学習を通じて個々の能力の活動や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す。	若年層から高齢者までの学習機会と仲間づくりの場を提供する。	もみじの里学校・手機織り・水中運動・星空観察・歴史教室
		青少年健全育成事業(川上)	関係団体や地域との連携を密にし、青少年健全育成を推進する。	支部連絡会を開催し、小中学校・警察・子供会等諸団体からの現状報告を聞いて対策を考える。	ふれあい登山・木工教室・郷土かるた大会
		青少年健全育成事業(やさか)	やさか地区が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る。	やさか地区の公民館が連携を取り合って、情報収集・会議運営・諸行事等の支援を行う。	やさか教育のつどい・わくわく体験くらぶ・夏休み子供まつり・文化歴史散歩・茶道教室
		青少年ボランティア参加促進事業	地域の一員として活躍できる場を提供し、ボランティア活動の成就感体験を図る。	公民館がつなぎ役となり、まち協・体協・文化協会・区長会等の事業に参加を求め、地域の大人と一緒に活動する。	区民運動会・文化芸能発表・夕森もみじまつり・防災訓練
		公民館図書室活動	住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大をさらに進める。	読み聞かせサークル「しゃぼん玉」の読み聞かせ・図書室祭りの実施、保育園・小学校・診療所との連携を強化する。	図書室祭りは年2回実施。手作り体験などを入れる。
文化		文化活動の支援	地域の文化芸能活動の活性化を図る。	発表の機会を増やし、意欲を持たせる。	文化協会の自立・文化祭
		文化財の発掘	家庭や地域に眠る文化財の発掘・保護に努める。	文化財を持ち寄って参加者で交流しその価値を再認識する。	史料収集と整理
スポーツ		区民運動会	スポーツを通じて老若男女が一堂に会し交流を深める。	体協が主導し、まち協を中心に区長会・聞く体育推進員・当諸団体が協力して盛り上げる地域の一大イベント。	住民の半数が参加する。
		軽スポーツ大会	軽スポーツを通じて地域間・世代間交流の推進を図る。	ビーチボール大会、グランドゴルフ大会(春秋の2回)	主催は体育協会で青少年健全育成市民会議川上支部は協力する。
運 営		公民館運営委員会の開催	地域の特徴を生かした活動の活性化と地域住民の意見を大切にした運営を進める。	運営委員会を単に職で構成するのではなく利用者の声を拾う工夫をする。	公民館評価制度の研修

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 加子母 公民館

2 重点方針

- 1.家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる機会を提供し、支援する。(家庭教育)
- 2.青少年育成区民会議活動を充実し、子ども達が地域活動に参画し、体験を通して地域への愛着を醸成できる情報や機会を提供する。(青少年健全育成)
- 3.生涯学習活動を支援し、地域の人材発掘や街づくりに参画する市民活動の拠点づくりを推進する。(地域拠点活動)
- 4.スポーツ・レクリエーションや公民館講座を通じて地域の人々の健康を基礎とした人づくりを推進する。
- 5.伝統文化の継承を支援する。

3	重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	家庭教育推進(家庭教育)	幼児期の子どもを持つ親を中心に家庭教育に対する正しい知識を身につける。	乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。	付知・東白川・白川地区との地域間交流を行う。	
	加子母教育の日(家庭教育)	地域の教育力を高め、地域で子育てを目標に地域教育の継続・充実を支援する。	地域の人々が、地域のことを、地域の子どもたちに教育する。家庭・学校・地域が一体となって子どもの教育を実践する活動。	通常11月最終日曜日に開催。	
	青少年健全育成事業	地域の中で小集会活動を充実し、地域全体で青少年健全育成を実践していく。	挨拶推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議を開催し、実践して行く。	10地区に青少年健全育成区民会議を区長中心に設置している。	
	風起こし事業	明治座を核とした文化による地域づくりのため、地域の芸術文化向上、コミュニティー醸成、交流促進、全国への情報発信を図る。	明治座の通年開館を行うことにより、文化財の保護と、地場産業や観光事業を振興し地域の活性化を図るためのイベント等を創出する。	明治座クラシックコンサート、明治座アートトリエンナーレ等	
	公民館講座	地域のニーズに適応した講座を開発し、地域の人の知職や技能の習得、健康づくり等に貢献する。地域の人材発掘と活用を促進する。	受講者の多い講座や新規講座を通じて地域の人の学習ニーズに応える。新たな講座、講師を開発し、地域の人材発掘を通じて地域活性化に貢献する。	気軽に講座を開講できる「お試し講座」を新たに試行する。	
	図書室の利用向上	総合事務所内に併設した図書室として、幅広い年齢層の利用を促すことにより読書活動を推進につなげる。	利用者にとって読みやすい場所及び充実した図書を提供することにより、利用者の増加を図る。また、定期的に図書室まつり等のイベントを実施する。	図書選書及び返却管理などは図書ボランティア「ひなたぼっこ」と共同で行っている。	
文化	伝統芸能保存活動	地域の伝統芸能の保存と、次世代へ継承を行う。	歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居等の伝統芸能の保存伝承を行う。子どもたちの参加を促し、後継者の育成を進める。	9月に明治座で歌舞伎公演、各区の神社祭典で獅子舞奉納等を行う。	
	文化協会事業	地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。	14の文化団体が構成し、成果の発表と各団体の交流を図るために文化祭を開催する。	10月に文化祭を開催予定。	
	「史・民俗資料」の保存・伝承	地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の整備・保存・伝承を図る。	「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。尾張藩山守内木家の古文書の解説を進める。	「郷土館」は、地域ボランティアの協力により随時開館中。山守内木家の古文書の解説を実施中。	
スポーツ	スポーツ少年団活動	スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る	4種目のスポーツ少年団を指導員と保護者で構成する育成会との連携を深め、子どもたちの健全育成を図る。	野球・剣道・弓道・スキーの4種目で小学1年～中学生を対象に団員募集し活動する。	
	加子母体育協会事業	一般スポーツを普及し体力増進と健康増進を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。	青少年に対し、スポ少と連携して強化を図るとともに、一般競技者の技術向上を図る。また、軽スポーツ等の普及に努め体力づくりの機会を増進する。地区体育祭は10地区対抗で開催し、スポーツを通じたコミュニティづくりを行う。	体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は開催時約1000人集まる加子母で最大の行事である。	
運営	公民館・図書室の運営	公民館・図書室の管理や運営に利用者や運営委員の声を活かす。	公民館や図書室の利用者の意見を反映し、管理や運営に活かす。公民館運営委員による公民館活動の評価やアドバイスなど第三者による意見を反映させる。	担当者による自己評価、運営委員による評価を通じて改善に取り組む。	

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 付 知 公民館

2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として、幅広い年代層に学習の機会と場所を提供するとともに、地域づくり・人づくりの拠点として親しまれる施設の運営を目指す。
2. 家庭教育の充実のために地域の子育て支援団体と連携・協働し、子育て支援活動に取り組む。
3. 青少年の健全育成を推進するために、青少年健全育成付知支部の活動を強化するとともに、地域全体で子供を育てる事業を実施する。
4. 地域伝統芸能継承団体及び文化団体の活動支援を行うとともに、地域の文化財を後世に継承していくための文化財保護活動の支援に取り組む。
5. 総合型スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人づくりを目指す。

3	重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
	生涯学習	公民館講座	地域住民の学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり・人づくりの推進を図る。	地域づくり講座、文化スポーツ講座、夏休み子ども講座等各種講座を実施する。夏休み子ども講座では、世代間交流や子どもの地域学習の場を提供する。	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
		青川フェニックス大学【高齢者大学】	高齢者の知識向上と生きがいづくりを目指し、仲間づくりと学習する機会を提供する。	大学の講座開講は運営委員会における自主運営で行い、学生の生涯学習、健康の維持・増進等を図る講座を開設する。今年度で22回目の開講となる。	平成30年度・・・普通部7講座、専門部18講座受講者数延べ318人、うち卒業者延べ239人、皆勤者数71人
		乳幼児学級	乳幼児とその親たちに家庭教育と情報交換の場を提供し、子育てのノウハウやコミュニケーション能力の向上を支援する。	未就園児の親子を対象に毎月1回開催し、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。	すすくわくまあるいところ、読み聞かせサークルおひさま、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。
		青少年健全育成事業	地域団体と連携して青少年の健全育成と安全確保ができる活動の推進を図る。	夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツラツウォーキング、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、子ども会支援等の事業を実施する。	区長会、PTA、学校、保護司、民生児童委員、更生保護女性会、各区推進委員等が連携して活動している。
		図書室の利用促進	地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。	①市民への情報提供：図書室だより、企画展示 ②地域連携事業（学校、NPOとの協働事業） ③利用者へのフォロー：図書検索、予約等 ④読み聞かせサークルの支援	学校、NPO、ボランティア団体との協働により公民館図書室の利用促進を図る。
文 化		伝統芸能保存事業	地域の伝統芸能の普及と、次世代へ伝承できるよう支援する。	木曳音頭、翁舞、三輪神楽、おんぼい節などの伝統芸能を後世に正しく伝承するため、保存会と連携して、活動やイベント等への出演の支援を行う。	後継者不足を解消するため学校との連携を進め、発表・交流の場を増やす。
		文化祭事業	文化芸能活動を支援し、地域の文化振興と住民の文化意識の向上を図る。	文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、作品展示と芸能発表を一緒に二日間かけて開催している。	平成30年度・・・文化協会34団体、協会員411人
		文化財保護事業	文化財を保存し後世へ継承していくとともに、普及・啓蒙活動を支援する。	文化財保存会を中心に、地域の文化財を保存・継承していくために、文化財の手入れや環境整備、中学生の見学会、ふるさと巡回ツアーの実施を支援する。	文化財保存会が地域の史跡顕彰看板を設置。（9か所）
ス ポ ー ツ		生涯スポーツ推進事業	スポーツを通して健康づくりと体力づくりへの関心を深め、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。	総合型地域スポーツクラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催するとともに、スポーツ少年団、体育協会のスポーツ活動を支援する。	平成30年度実績・・・スポレク祭8種目、386人、スポ少駅伝交流会220人参加
運 営		公民館運営委員会	地域の特色を活かした活動の活性化と、地域住民の意見を活かした運営を行う。	公民館運営委員会を開催し、その意見を公民館活動に反映させる。	公民館運営委員は町内の公民館を利用する各種団体から選出する。30年度町内全戸のアンケート実施した。
		公民館の指定管理	まちづくり協議会が公民館と一体的に活動することで、住民の意向を的確に反映した公民館運営を行い、人づくり、地域づくりを通して地域の活性化	30年度から付知町まちづくり協議会が付知公民館の指定管理を実施している。公民館の設置目的、及び管理運営方針を十分に理解し、公民館活動の向上に努める。	

平成31年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 福岡 公民館

2 重点方針

1. 安全で安心して住むことのできる地域づくりの取組みを支援します。
2. 家庭、学校、地域、各種団体等と連携し「地域教育力」の向上に努めます。
3. 各施設を市民の居場所づくり、出番づくり、仲間づくりに活用します。
4. 伝統文化の継承と文化団体の育成を支援します。
5. 指定管理施設（公民館、ふれあい文化センター、常盤座）の管理と、活用による地域づくりに貢献します。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	各種講座の開催	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがい作りを行う。	地域づくり、健康づくり及び文化教養講座を軸に多くの皆さんに参加していただける講座等を企画運営する。	講座終了後、参加者からアンケートを実施し、講座の充実を図っている。
	乳幼児学級 （母親サークル）	子育てに関わる学習や遊びから親・子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。	学びながら親子のふれあい、親同士のふれあいをテーマに季節の行事や食育、講演など、月1回の本活動と月1回の自主活動を行い、様々な企画で開催する。	参加者の自主活動で行われ、リーダーを通して事前打ち合わせを行い、連携しながら運営している。
	青少年健全育成推進活動	家庭、学校、地域が連携し、青少年の健全育成に努める。 福子連の自立と育成及び地域子ども会の自主的活動を推進する。	社明運動や各分会におけるの健全育成活動、補導活動を実施する。 福子連（福岡子ども会連絡協議会）主催のふるさとのお宝ものがしの実施や子ども夏祭りinふくおかへの協力を行う。	保護司、更生保護女性会、民生児童委員、PTA、学校、青少年健全育成推進員、育成員が連携して活動し、次世代の担う子供たちの育成を保護者の方たちと支援する。
	家庭教育学級	家庭教育力の向上のため、家庭、学校、地域が一丸となり子育てを推進する。	福岡中学校区の各PTAと公民館が一带となり、気軽に語り合う、学びあう、機会をつくる。	公民館を会場として、年間4回の講演会を開催し、延べ200人以上の参加者がある。
	熟年ふれあい学級	毎日をより豊かに過ごすことができるよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。	楽しみながら月1回勉強会などを開催するとともに、見聞や知識を広める研修会を年2回開催し親睦交流を更に深める。	役員主導により月1回、楽しい学習活動を行っており、増加傾向にある。
	放課後子ども教室	放課後の子どもたちによりよい文化活動を提供し、子どもたちの成長を見守る。	公民館を利用し、子どもたちが文化活動にふれ、充実した生活を送る。	公民館で、年間10回15時から17時の時間帯で実施している。
文化	文化活動事業（文化展）	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。	ふくおか文化協会が主催し、住民の成果発表と作品展示、特別展などの場として、毎年11月の第一土曜日と日曜日に文化展を開催する。	毎年200名以上の方が出品され、2,000名以上の来場者がある。
	芸能活動事業（芸能祭）	地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。	ふくおか文化協会に加盟している団体等が日頃修練してきた成果発表の場として常盤座で毎年3月の第一日曜日に開催する。	協会団体や会員を募集するとともに、賛助会員を募り、文化協会を更に発展させる。
	伝統芸能保存事業 （常盤座歌舞伎保存会）	地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る。	常盤座を訪れる方へ歴史的建造物と地歌舞伎のPRを行う。 常盤座歌舞伎保存会が毎年3月の最終日曜日に歌舞伎定期公演を開催する。	常盤座歌舞伎保存会、常盤座棧敷会(支援団体)、歌舞伎子ども教室が積極的に活動している。 観光バスの来客や問い合わせが急増している。
	ニッ森ふれあいクラブ活動	地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成する。	文化系、スポーツ系とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、子ども夏祭りinふくおか（8月）及び体験会（2月）を開催する。	文化系2クラブ、スポーツ系12クラブが活動中。 福岡地区外の子どもたちも参加している。
スポーツ	福岡体育協会事業	体育協会をサポートすることにより、住民の健康増進とスポーツの普及を図る。	各種スポーツ大会（市体育大会・スポレク祭・バレーボール・ソフトボール）及び元旦マラソンを開催する。	各種スポーツ団体として14クラブあり、その他の団体として5団体が活動している。
運営	図書室の充実と活用	地域図書館としての機能を充実させるとともに、利用しやすい図書室を目指す。 図書室ボランティアの育成。	利用しやすい図書室にするとともに、保育園・小学校などと連携し、利用者の増加を目指す。図書室まつりを開催し読書の普及に努める。	図書室の利用者、貸出冊数ともに、増加傾向にある。

2019年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 蛭 川 公民館

2 重点方針

1. いつでも、だれでも、気軽に利用できる公民館に … 地域づくり、人づくりの拠点を目指す ☆蛭子座の積極的活用を核にして
2. 楽しく学ぶ仲間づくりと生きがいの場に … 様々な学習活動・機会の企画運営と支援
3. 青少年が健全に成長できる環境づくりの取り組みを … 学校・家庭・地域の連携を推進する
4. 人と人とがふれあう仲間づくり・健康づくりの場に … 気軽に参加できる文化・スポーツ活動の企画運営と支援

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育【乳幼児学級】	親子でのふれあいを通して、子育てと仲間づくりを支援する。	月1回の学級/遊びの広場で、遊びや学びの場を通して親子のふれあい、親同士の交流を行う。	実情や要望を把握して、楽しく・役に立つ企画に努める。
	公民館講座	講座を通して、仲間づくり、生きがいづくり、地域づくりへつなげる。	地域の絆づくり、健康づくり、文化教養講座を中心に、住民の学習要求に沿った学習機会を企画運営する。	ヨガ、脳トレ、将棋、陶芸、ウォーキング等…9講座、
	青少年健全育成活動	学校・家庭・地域の連携を通して、青少年の健全育成活動を推進する。	推進市民会議支部を中心に、PTAや地域諸団体と連携し、青少年健全育成活動の取り組みを行う。	なんでも塾支援、挨拶運動、夏祭り協力、成人を祝う会、見守り活動等
	高齢者学級【あじさい学級】	高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、学習活動を支援する。	月1回開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、地域探訪、研修旅行等を実施する。	マレット、陶芸、ボランティア、健康体操、寄せ植え、研修視察等
	なんでも塾【小学生対象】	様々な体験、学習、交流を通して、子ども達の健全な成長を支援する。	地域講師から、茶道、華道、着付、将棋、習字、スポーツ、ホタル・星空観察、釣り等を学ぶ。	定期塾（月1×8回）、随時塾（テーマ毎に1～2回）を開講
文化	文化・芸能活動支援	蛭子座(公民館ホール)の活用を通して、文化・芸能活動の向上を図る。	文化協会主催の芸能祭（6月）・文化展（11月）、歌舞伎保存会等の自主発表等に協力する。	蛭子座の積極的な活用を目指す「蛭子座友の会」との連携。
	郷土資料保存伝承	文化財や遺産等の保護と後世への継承及び公開と活用を図る。	郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化とその活用を進めていく。	郷土資料館の活用の仕方を地域住民に発信する。
スポーツ	スポーツ大会 スポーツ教室 健康づくり	様々なスポーツ活動の機会を通して健康づくりや地域の交流を図る。	体育協会・なんじゃもんじゃクラブ、体育委員会と連携し地域スポーツやレクリエーションの運営を支援する。	ひとつばたごうオーク（5月）、スポレク祭（6月）、健康づくりの日（10月）、新春マラソン（1月）、各スポーツ教室等
運営	公民館運営委員会	地域の生涯学習としての拠点としての公民館づくりの改善を進める。	公民館の活用について地域からの声を把握し利便性を図っていく。運営委員会による評価の実施。	地域づくりの観点で、公民館指定管理について検討を進める。